

# 静岡県の郷土玩具展

昭和50年11月1日～51年1月31日

三島市郷土館

この度、三島市郷土館において「静岡県の郷土玩具展」を開くことになりました。郷土玩具とは、「郷土の伝統を持った玩具」ということになります。それは大きくいえば、郷土の歩みを背負った玩具ともいえませんが、とにかく私どもの先祖がそれによって育てられてきたものなのです。したがって、それを作り発展させてきた何代もの人々の、すぐれた発想や技術がしみ込んでいるものです。中にはその地方の文化や産業や信仰などと、特に密接な関係を持ったものもあります。そして郷土玩具の何よりのよさは、それが手作りの深い味を持っていることです。

さて、静岡県下にはたくさんの郷土玩具がありますが、案外それが広く知られていないようです。そのため折角のよい玩具が、すでに過去のものになったり、あるいは絶滅寸前といったものもあります。これはまことに残念なことであります。もし今回の企てが一人でも多くの方に郷土玩具を知っていただく機会となり、さらにまたそれが郷土理解や郷土愛の啓培に役立つならばまことに幸であります。

終りにこの展示に関して格別なご協力をお寄せいただいた浜松の中村健治氏、静岡の真沢就爾氏、清水の佐野勉氏をはじめ多くの方々に厚く御礼を申し上げて、あいさつと致します。

## ■ おかんじゃけ

これは静岡県を代表する郷土玩具と言えるだろう。県内に広く分布し、呼び名にも、それぞれ差異がある。おかんじゃけ、さいはらさん、おたんたけ、おたつき、おごーごー、こんぴらさん、外に数多くの呼び名を持っている。呼び名に親しみが無いのは、現在、余り作られていないという理由からである。

現在、静岡市の洞慶院では、7月19、20日の両日、開山忌の縁起物として売られ、「洞慶院のおかんじゃけ」としてもっとも名を知られている。竹製の簡単な玩具であるが、遊び方にもいくつかの方法があり、その歴史の古さ、分布の広がりも容易に納得できる。

### — おかんじゃけの製法と遊び方 —

真竹を節を中心に上下30cm位ずつの長さに切り、それを立て、一方の縁を金槌で慎重にたたきながら中央の節まで繊維状にする。次に表面についている青皮を取り除き、針を利用した櫛で丹念に解きほぐし、はじめて生地のおかんじゃけができる。これを水に漬けてさらし、2、3日乾燥させて完成する。

昔子供たちは、この竹の繊維で、女の子は髪結いを習ったり、男の子は戦争ごっここの彩配にしたりに、いろいろくふうをこらして遊んだということである。



おかんじゃけ

## ■ 県西部の郷土玩具

浜松市を中心にした県の西部地方は郷土玩具の宝庫である。特に凧は良いものが多い。浜松凧をはじめ、見付凧、横須賀凧、広瀬の凧、森の凧など、種類も形も実にたくさんある。昔から「遠州名物カラッ凧」と言われているが、この凧と凧の分布とは関連があるのだろう。

凧だけではない。浜松張り子はその出来ばえ、歴史共に、わが県を代表する郷土玩具である。この張り子は、旧徳川幕臣三輪永保の手により創始された。明治元年頃、永保は江戸から浜松に移住し、製作を開始した。その技術は、子の永智、6女の二橋志乃と伝承され、昭和48年まで続いてきた。志乃さんは亡くなられ、現在は二橋家の嫁の加代子さんが継承者として製作にあたられているということである。

## 浜松凧

浜松市と言えば凧揚げを連想するくらい凧は浜松に密接している。現在では凧揚げ祭りとは言わず、浜松祭りと呼ばれる。しかし凧揚げが祭りの中心であることに変わりはない。

例年5月の3、4、5日と3日間くりひろげられる勇壮な凧揚げを知らない人は無いだろう。浜松市約60の町内が各町印を染めぬいた大凧を持ち寄り、競って揚げるその祭りは余りにも有名である。

この凧揚げの歴史は古く、永録年間に城主飯尾豊前守の長男義広公の誕生を祝って、佐橋甚五郎という人が凧揚げをした、というのが最初であると伝えられる。

今回の展示では、この浜松凧のミニチュアを50点ばかり展示してみた。



横須賀凧—頭っ切れ

## ■ 県中部の郷土玩具

### — いちろさんのデッコロボー —

県の中部地方にも、郷土玩具はたくさんある。静岡の駿河凧、宗高の凧、田代の凧、静岡張り子、静岡姉さま、清水張り子などである。駿河凧の現代の作者、凧八さんこと加藤辰三郎さんが、アメリカ建国200年祭の行事に招かれ、向うで凧揚げをして来たニュースは耳に新しい。中部にも西部に負けない郷土の凧作りはいる。

さて、ここでは「いちろさんのデッコロボー」と呼ばれる清水の土人形を取りあげてみた。いちろさんは、作者「市郎右エ門」の呼び名である。現在では堀耕太郎さんという人がこの市郎右エ門を名乗ってデッコロボーを作っている。この人形は単に玩具としてでなく、子供の夜泣きをなおすという言い伝えが、その名を高くした。棒に突きさしたデク人形には、他所の木偶(デク)には見られない独特の顔がある。また、デッコロボーの呼び名も地方色があっておもしろい。



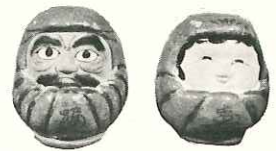
いちろさんの  
デッコロボー

## ■ 県東部の郷土玩具

県の中、西部に比較して、東部は郷土玩具が少ない。三島大社の立絵馬、折り紙神像、修善寺の麦わら細工、稲取のハンマー様、などがあるが、凧や張り子などはない。

野口三四郎の三四呂人形は、郷土玩具とは少し異なっているが、今回展示を試してみた。三四呂人形の作者、野口三四郎は、張り子の郷土玩具に大きい影響を受けている。人形の製作工程を見ると、三四呂人形が張り子人形であることがわかる。彼は自分の作品の中に、高度な芸術的感覚をもって故郷三島に対する愛情を投入した。今三四呂人形を見ると、美しいとさえ思える作品の中に、ほのぼのとした郷土の暖かさが伝わってくる。

三島にはもう一つの張り子があった。それは三島ダルマである。



三島恵比須だるま

### 三島だるま

三島だるまの歴史は、浅く短かく、これについて知っている人も少ない。故福田高雄さんは、若い時に静岡市のだるま屋で修業を積んだ。後に、三島で「三島夫婦だるま」を作りだした。この男女一組のだるまは、福島県の三春張り子をはじめ他県にはいくつかあるが、わか県内では珍しいものである。

三島大社の「起き上りエビス」も福田さんの作品であった。ユーモラスであたたかい良いだるまであったが、41年に彼が亡くなられて以来、後継者も無く絶えているのはさびしい。

## ■ 郷土玩具にヒントを得た木工細工

静岡に住む真沢純爾さんは郷土玩具の木の愛好家である。彼はまた、良い玩具を作りたいと考えていた。郷土玩具に感じられる素朴さと暖かさを生かす。製作にかかる時、イメージの中心は、いつもそこにあった。木材を使って、いくつかの作品を試作してみた。生来の器用な技術も大きい役割を果しているが、完成品には、郷土玩具の本来の味が見事に表現されていた。

木のもつ強さは、実際に子供たちが遊ぶおもちゃとして耐え、木目の暖かさは素朴なノスタルジーを感じさせる。

何か新しいタイプの郷土玩具を発見したような気がする。



首替玩具

## 展 示 品 目 録

No.	玩具名	点数	提供者	住所	No.	玩具名	点数	提供者	住所
1	浜松 凧	50	中村健治氏	浜松市利町	27	水窪の山住さん	1	中村健治氏	浜松市利町
2	見付 凧	1	"	"	28	宇津の谷の十団子	1	"	"
3	横須賀 凧	7	"	"	29	お渡りさんのおりかけ	1	"	"
4	相良 凧	2	"	"	30	花学院の絵馬	1	"	"
5	広瀬 凧	3	"	"	31	法多山の絵馬	1	"	"
6	森の 凧	2	"	"	32	三島大社の立絵馬	10	"	"
7	駿河 凧	2	佐野 勉氏	清水市草薙	33	志太天神	1	佐野 勉氏	清水市草薙
8	宗高の 凧	2	"	"	34	朱肉入れ(フクロウ形,その他)	7	真沢純爾氏	静岡市足久保
9	田代の 凧	2	"	"	35	置物(ハリネズミ形,その他)	11	"	"
10	浜松張り子	50	中村健治氏	浜松市利町	36	自在鉤の魚	1	"	"
11	森の張り子	5	"	"	37	鎌倉彫り丸型硯	1	"	"
12	藤枝の面	2	佐野 勉氏	清水市草薙	38	飾り物(サケ)	1	"	"
13	静岡張り子	5	"	"	39	カレンダー(ワニ,その他)	2	"	"
14	清水張り子	1	"	"	40	ペン皿(エビ,その他)	4	"	"
15	浜北の「籠の風車」	3	中村健治氏	浜松市利町	41	ペーパーナイフ(カンザシ形,その他)	8	"	"
16	洞慶院のおかんじゃけ	2	佐野 勉氏	清水市草薙	42	モビール(コウモリ)	1	"	"
17	清水の土人形	1	中村健治氏	浜松市利町	43	玩具	2	"	"
18	坊の谷人形	2	佐野 勉氏	清水市草薙	44	三四呂人形	1	渡辺ちゑ氏	沼津市今沢
19	静岡姉さま	3	"	"	45	三四呂人形	3	故池田信氏	三島市芝本町
20	小松の姉さま	10	中村健治氏	浜松市利町	46	三四呂人形	2	藤掛清隆氏	" 北田町
21	引佐の姉さま	3	中村健治氏	"	47	三四呂人形	3	瀬川 篤氏	" 中央町
22	小松の糸まり	3	"	"	48	三四呂人形	6	野口冬樹氏	静岡市沓谷
23	修善寺の麦わら細工	3	佐野 勉氏	清水市利町	49	三四呂人形木型、外	5	中野 順氏	三島市本町
24	由比の宝船	2	"	"	50	三島ダルマ木型	2	田村艶子氏	三島市日の出町
25	浜松地方の嫁たたく棒	1	中村健治氏	浜松市利町	51	三島ダルマ	12	郷土館所蔵	
26	稲取のハンマー様	1	"	"	52	三島ダルマ張り子	2	"	



浜松張り子—もちつき—

(〒 411) 三島市一番町19-3  
市立公園楽寿園内  
三島市郷土館  
☎(0559)71—8228